■ 都心交通ビジョンの具体化に向けた市民参画のあり方について

都心交通ビジョンの具体化の流れ

Ⅰ.都心ビジョンの全体像に関する合意形成と意思決定
1）ビジョンに関する市民の合意形成
2）ビジョンの政策的位置づけ

Ⅱ．個々の施策、プロジェクトの立案
1）施策、プロジェクトの立案、検討
2）施策、プロジェクトの公表

Ⅲ．個々の施策、プロジェクトの実施
1）重点プロジェクトの実施
2）モデルプロジェクトの実施
（試行、実施、検証、水平展開）
3）まちづくりの規制、誘導
4）その他、まちづくり活動や運動

Ⅳ．施策、プロジェクトの検証とフィードバック
1）プロジェクトに対する検証
2）フィードバックと施策の修正

市民参画のねらい

- 市民による豊田市都心将来像の共有
- 将来像に向けたまちづくり機運の醸成
- (仮)中心市街地戦略会議との将来像の相互理解

- 具体的な目的意識の共有化
- 主体的にプロジェクトを運営する主体の形成、意欲の醸成
- 各主体の活動の調整を担う(仮)中心市街地戦略会議の役割の明確化
- 多様な視点からのアイディアの抽出

- 多数の市民、多様なまちづくり団体のプロジェクトへの参加
- 市民団体同士の合意形成、市民団体と市民の合意形成、行政との合意形成
- 市民の合意にもとづく規制や誘導への参加、対応
- 自主的なまちづくり活動の実施
- 行政や TMO による総合的な街づくり活動の支援

- 市民による施策のモニタリング
- 施策の見直しに対する市民の意向反映

市民参画のプログラムイメージ

1）ビジョンに関する市民の合意形成
- 市民にわかりやすく「豊田都心交通ビジョン」の内容を伝えるキャンペーン・シンポジウムの開催

2）ビジョンの政策的位置づけ
- 「(仮)中心市街地戦略会議」での「ビジョン」の共有化と、実現に向けた協議会の役割分担の協議

1）施策、プロジェクトの立案、検討
- 施策、プロジェクトを提案するプロジェクトチーム又は市民委員会の組成（公募等による）
- テーマを明確にした市民へのアイディア募集

2）施策、プロジェクトの選定と公表、各主体の調整
- (仮)中心市街地戦略会議による選定と公表
- 各主体の調整を行う協議会の役割の明確化

1）重点プロジェクトの実施
（例）「矢作の杜クラブ」構想
- 構想策定を策定する検討委員会への市民の参加
- 公園の整備や維持管理活動へのボランティア参加
- その他、植樹ボランティアやスポーツ・文化活動を行う市民団体などが連合した「矢作の杜クラブ」の立ち上げ

2）モデルプロジェクトの実施
（例）街なかエコスポット
- モデルプロジェクトへの参加募集
- モデルプロジェクトの実施、モニタリング
- 水平展開段階でのプロジェクトへの参加協力

3）まちづくりの規制・誘導
（例）歩行者・公共交通優先エリア化
- 社会実験への参加、モニタリング
- まちづくりルールの遵守

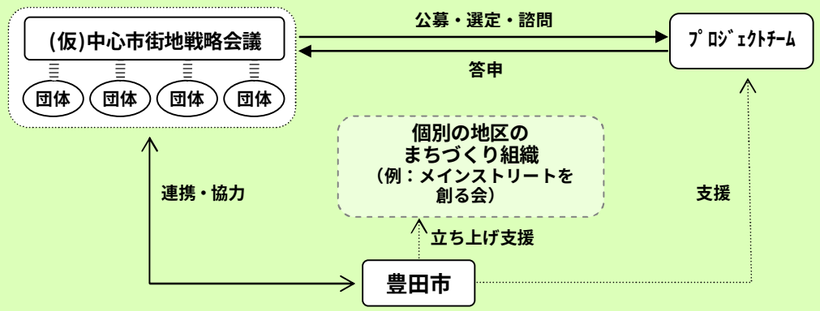
4）その他、まちづくり活動や運動
（例）メインストリートを創る会
- 地域住民等による会の主体的な設立と運営

1）プロジェクトに対する検証
- 市民参加によるモニタリング組織の設置
- プロジェクト実行者による自主的な検証とモニタリング組織によるチェック

2）フィードバックと施策の修正
- モニタリング組織による報告と公表
- 施策修正に関する市民意向の吸収（意向調査等）

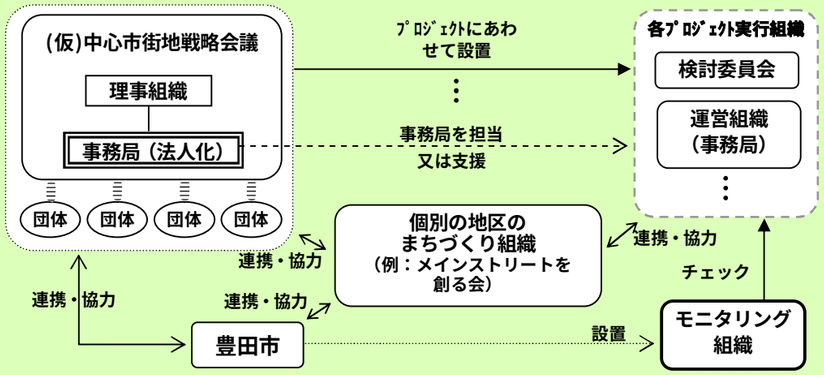
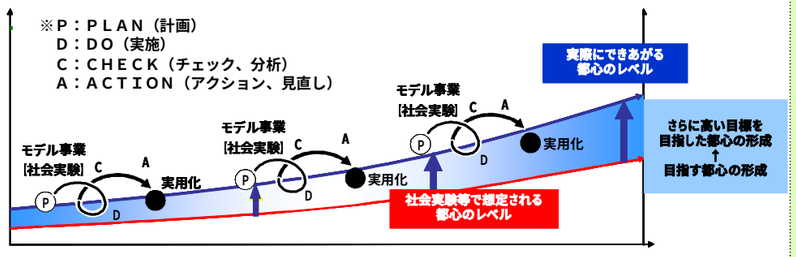
市民参画の組織展開イメージ

第一段階の組織イメージ



- (仮)中心市街地戦略会議を都心まちづくりの中核的な意思決定、推進機関と位置づける。
- 機動力を確保するためのﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑを適宜設置する。ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄﾁｰﾑへの専門家派遣協力等と適宜市が行う。

第二段階の組織イメージ



- 個々のﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ実施のための検討委員会、実行組織等は適宜設置する。
- 委員会や実行組織の事務局は(仮)中心市街地戦略会議の事務局がその役割を担うか支援する。このため、戦略会議事務局は法人化するなど独立組織としての機能を強化し、専門職能を含めた人的資源の拡充や経営安定性の確保を図る。
- 個別の地区のまちづくり組織は戦略会議、ﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄ組織、市と綿密な連携、協力のもとまちづくりを進める。
- 市民意識の向上、ﾗｲﾌｽﾀｲﾙの変革などを図るため、モデル事業を核として社会実験等を通じた事業展開を推進しつつ、目指す都心形成の実現に向けた検討を継続する（PDCA サイクルの確立）。